

大工技能者等の担い手確保・育成事業
事業成果報告会

大工志塾

令和5年3月7日
(一財)住宅産業研修財団

令和4年度 大工志塾((一財)住宅産業研修財団)【育成】

1-1. 全体概要【育成】

実施地域	東京都、愛知県、大阪府、福岡県、長野県、石川県 (全6カ所)																																																	
事業期間	令和4年5月20日～令和5年3月3日(約9ヵ月)																																																	
受講者数	実数	育成:95名(男性90名、女性5名) ^{R5.1月末時点} 2期生19名、3期生18名、4期生27名、 5期生31名																																																
受講者属性	種別	大工:95名(見習いを含む)																																																
	年齢構成	20歳未満 : 9名 30歳代 : 13名 20-24歳 : 46名 40歳代 : 6名 25-29歳 : 20名 50歳代 : 1名																																																
座学・実技研修	座学	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>東京</th> <th>名古屋</th> <th>大阪</th> <th>福岡</th> <th>長野</th> <th>金沢</th> <th>合計回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2期生</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>3期生</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>-</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>4期生</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>-</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>5期生</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>-</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>54</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>56</td> <td>2</td> <td>286</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1コマ3時間の講義を1回として計上 ※会場による講義回数の差は、新型コロナウイルス感染症等の影響による中止によるもの。</p>		東京	名古屋	大阪	福岡	長野	金沢	合計回数	2期生	2	2	2	2	-	2	10	3期生	16	18	18	18	18	-	88	4期生	18	20	20	20	20	-	98	5期生	18	18	18	18	18	-	90	合計	54	58	58	58	56	2	286
		東京	名古屋	大阪	福岡	長野	金沢	合計回数																																										
2期生	2	2	2	2	-	2	10																																											
3期生	16	18	18	18	18	-	88																																											
4期生	18	20	20	20	20	-	98																																											
5期生	18	18	18	18	18	-	90																																											
合計	54	58	58	58	56	2	286																																											
実技	全体:8回 2期生:1回(修了制作(石場建て足固め工法 板倉造住宅)) 3期生:5回(建築大工検定課題演習※) ※東京・愛知・大阪・福岡・長野で各1回実施 4期生:1回(八角四阿) 5期生:1回(八角四阿)																																																	
計	294回																																																	

1-2. 研修活動等の概要【育成】

- 工務店に所属する若手大工等を対象に、伝統的な木造軸組構法に関する「知識・理論」と「技術・技能」の両面を兼ね備えた大工技能者として育成すべく、3つの育成プログラムに基づき教育指導を行う。
- 1)座学:毎月1回・2コマ程度の講義を各地で実施。コロナ対策のためオンライン形式も一部実施。規矩術は演習を交え、2コマ6時間の集中講義に変更。
- 2)OJT:所属工務店の指導棟梁が、座学プログラムにない基本的な礼節や道具扱い、「規矩術」講義の宿題アドバイス、また集合実技研修課題等に関する事前指導等を実施。
- 3)集合実技研修:年1回、群馬県神流町に受講生が集合し、合宿を行い、様々な課題制作や体験学習(製材所・古民家見学等)を行う。

1-3. 事業の効果・成果等【育成】

- 座学講師の受講生に対する評価
 - ・建築図面の種類と役割と読み取るべき役割を理解できるようになった。
 - ・規矩術講義に演習を交えたことで、受講生の技能習熟度が総じて向上した。
- 建築大工技能検定
 - ・令和4年度、1級を6名、2級を12名受検予定(技能向上研修対象の3期生把握分のみ)
 - ※令和3年度実績 1級1名(4名)、2級2名(9名)、3級1名(1名)が合格 カッコ内は受検者数
- 指導棟梁の受講生に対する評価
 - ・大工以外の職方を理解し、自ら考え段取りできるようになった。
 - ・屋根解体や木組の仕方を理解した。
 - ・規矩術講義における受講生の技能習熟度が向上。
- 集合実技研修講師の塾生に対する評価
 - ・日頃異なる環境で修業する塾生が一堂に会し切磋琢磨することで、意欲と技能の著しい向上がみられた。
 - ・会社の垣根を越えた同業従事者によるコミュニティ形成に寄与した。

1-4. 今後の課題・改善点【育成】

- 現場修業(OJT)について、今期、国の指摘事項を踏まえ、大工志塾プログラムの指導到達レベルを客観的かつよりきめ細かな評価指標として示すため、大工に係る職業能力評価シートを参考に見直し・再整理した。
- 来期は、当該評価シートの運用(塾生・指導棟梁の事前・事後評価)を開始し、塾生の年次ごとの成長度合の評価に取り組む。あわせて、そのための、関係者への周知徹底、塾全体の体制変更および契約変更手続き等を行う。

令和4年度 大工志塾((一財)住宅産業研修財団)【育成】

座学風景①



座学風景②



座学風景③(オンライン)



14

OJT指導風景①



OJT指導風景②



令和4年度 大工志塾((一財)住宅産業研修財団)【育成】

集合実技研修「石場建て足固め工法 板倉造住宅」(2期生修了制作)



令和4年度 大工志塾((一財)住宅産業研修財団)【育成】

集合実技研修「八角四阿」(4・5期生)



集合実技研修「技能検定演習」(3期生)



大工技能者等の担い手確保・育成事業
事業成果報告会

災害時における応急仮設住宅・応急修理対応の 大工育成

17

令和5年3月7日
(一社)全国木造建設事業協会



令和4年度 災害時における応急仮設住宅・応急修理対応の大工育成

(一社)全国木造建設事業協会【育成】

1-1. 全体概要【育成】

実施地域	福島県、群馬県、神奈川県、山梨県、静岡県、富山県、大阪府、高知県、山口県、福岡県、長崎県、沖縄県	
事業期間	令和4年5月20日～令和5年2月9日(約9ヵ月)	
受講者数	実数	育成:225名(男性225名)
受講者属性	種別	大工:225名(見習いを含む)
	年齢構成	25-29歳:2名、30歳代:34名 40歳代:189名
座学・実技研修	座学	5回(福島会場:1回、高知会場:1回、山梨会場:1回、長崎会場:1回、沖縄会場:1回)
	実技	8回(群馬会場:1回、神奈川会場:1回、静岡会場:1回、富山会場:2回、大阪会場:1回、山口会場:1回、福岡会場:1回)
	計	13回

1-2. 研修活動等の概要【育成】

- 【木造応急仮設住宅実習訓練研修会(界壁施工編)】
研修内容:施工手順・図面説明・断熱、界壁施工施工実習
- 【木造応急仮設住宅実習訓練研修会(木杭編)】
研修内容:全木協マニュアル説明・施工手順・図面説明・木杭打込み、レベル合わせ・施工実習
- 【応急仮設住宅図面・施工・管理研修会】
研修会内容:図面(応急仮設住宅・談話室・集会所)、仕様説明・全木協マニュアル説明
- 【応急修理対応研修会】
研修内容:応急修理とは・応急修理概要・修理方法・作業行程の確認・施工方法及び注意事項、施工実習
- 【全国研修会】
令和4年度国土交通省補助事業における成果報告

1-3. 事業の効果・成果等【育成】

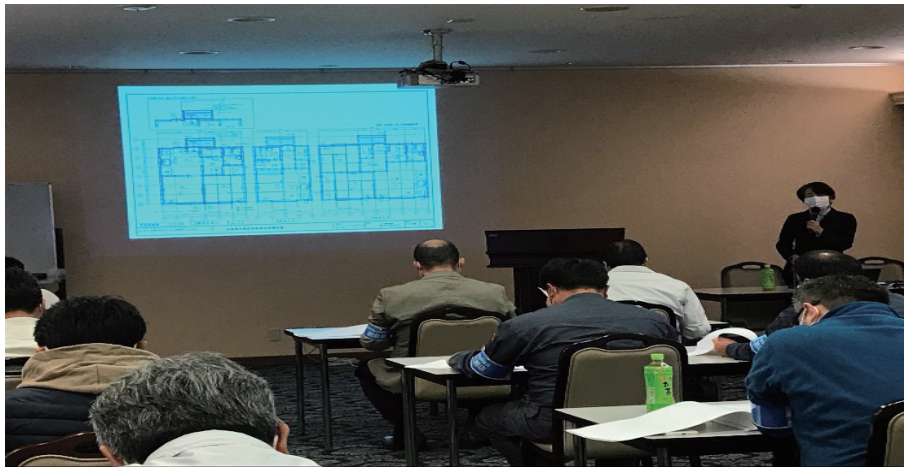
- 界壁施工研修会を行った結果、普段全く界壁施工を行わない大工が、施工内容・方法を理解することで、防音効果・断熱性能向上等の施工手順・重要性を認識することで、災害発生時に一定水準以上の応急仮設住宅の建設提供ができるようになった。
- 応急修理研修会では、屋根の応急対応で、ブルーシートでは耐久性が弱いため、本工事までの間、1年以上経過しても劣化せずに耐久性が高いスーパーブルーシート(ルーフィング)を使用した簡易屋根実習訓を実施し、応急修理に対しての新しい対応方法が一つ加わった。そして、施工のポイントを含めて解説を行い、理解を深めることができた。

1-4. 今後の課題・改善点【育成】

- 台風の進路が以前と違い、どこに上陸するかわからず、屋根瓦が飛ばれたり、床上浸水等の甚大な被害が発生し、災害地では、悪徳業者がブルーシートを張るのに高額料金を請求する事例が後を絶たず、全都道府県での早急な訓練実施が望まれる。
- 応急仮設住宅実習訓練研修会(界壁施工編&木杭編)では、大工受講者により、断熱材の入れ方に差があり、綺麗に入れることができない受講者もいるので、断熱性能の重要性を再度認識してもらうことが必要である。

令和4年度 災害時における応急仮設住宅・応急修理対応の大工育成

((一社)全国木造建設事業協会)【育成】



応急仮設住宅施工・管理研修会山梨県(談話室・集会所)



応急修理研修会 神奈川県

19



木造応急仮設住宅実習訓練研修会(界壁施工編) 群馬県



木造応急仮設住宅実習訓練研修会(木杭編) 富山県

大工技能者等の担い手確保・育成事業
事業成果報告会

地域の建材店を中心とした 地域の会大工担い手育成事業

20

令和5年3月7日
(一社)全国住宅産業地域活性化協議会



令和4年度 地域の建材店を中心とした地域の会大工担い手育成事業

((一社)全国住宅産業地域活性化協議会)【育成】

1-1. 全体概要【育成】

実施地域	鹿児島・長崎・山口・広島(広島)・広島(福山)・岡山・鳥取・福井・山梨・愛知(岡崎)・岩手(北上)	
事業期間	令和4年5月20日～令和5年1月31日(約9ヵ月)	
受講者数	実数	育成:68名(男性58名、女性10名)
受講者属性	種別	大工:31名(見習いを含む) 設計・営業等:37名
	年齢構成	20歳未満:11名 30歳代:8名 20-24歳:36名 40歳代:3名 25-29歳:10名
座学・実技研修	座学	42回(11会場延べ回数)
	実技	121回(11会場延べ回数)
	計	163回

1-2. 研修活動等の概要【育成】

【各地域における大工育成事業の実施】

○建材流通店を核に、地域の工務店との人材育成を可能とする環境を構築し3か年事業として育成事業を実施。各地域、受講生レベルに応じたカリキュラムを基に座学・実技研修を実施。

11地域68名が受講。(新規受講49名・継続受講19名)

〈座学〉

・社会人としての心得、マナー、安全衛生知識、道具の知識、木造軸組み概論、プレカット工場見学などを実施。

〈実技〉

・実習棟による建て方実習

土台敷き、建て方、外部施工、内部施工～解体まで一連の研修を実施

○受講前、受講後の能力評価シートによる成長度の測定とフィードバックを実施。

1-3. 事業の効果・成果等【育成】

○受講生80%のCCUSレベル1からレベル2への向上を目標にした育成事業3年計画の最終年度。新規受講生49名においてはレベル2到達者はゼロとの結果となった。然しながら、19名の継続受講者においては約60%がレベル2へ到達することができた。

又、項目別では全地域で「基本的な立ち振る舞い」、「木材・建材の知識」においてレベル2へ到達した。

○今年度新たに担い手育成委員として参加したメンバーへの取組内容の共有により、その中から次年度以降、育成事業へ取り組む可能性が出てきたことも成果として上げられる。(検討中の地域:沖縄・静岡・神奈川)

1-4. 今後の課題・改善点【育成】

○各地域5名程度の受講生(新規入職者)の確保。

○一方で、CCUSレベル2への到達へ向けては新規受講者が単年で到達するには無理があり、2年～3年の継続受講が必要。

○大工の魅力発信による入職者確保と業界からの離職の歯止め。

○育成事業の標準化(再現性)へ向けたツール、資料などの更なる充実。

令和4年度 地域の建材店を中心とした地域の会大工担い手育成事業

((一社)全国住宅産業地域活性化協議会)【確保】

2-1. 全体概要【確保】

実施地域	山梨県・山口県	
事業期間	令和4年6月1日～令和5年1月31日(約8ヵ月)	
委員者数	実数	地域ネットワーク委員会:8名(男性8名)
委員	種別	・山梨:7名 ・山口:1名
座学・ 実技研修	地域ネット ワーク 委員会	4回(山梨会場:2回、山口会場:2回)
	計	4回

2-2. 研修活動等の概要【確保】

【地域ネットワーク委員会】

○山梨・山口にて各2回、委員会を実施。

(山梨県)

・工務店大工の仕事の平準化、雇用・育成についてのネットワークの在り方・役立ち、具体的なアクションについての方策を議論。

(山口県)

・新規入職者確保へ向けたリクルート活動のツール作成、環境整備(雇用条件、就業規則など)についての具体的内容を検討。

2-3. 事業の効果・成果等【確保】

○山梨県

・新規入職者の確保へ向けた、大工の魅力発信イベント(展示会でのブース設置)の企画が整った。他団体と共同で木工教室等のイベントを実施し大工の魅力・存在を発信していく。

○山口県

・リクルート活動へ向けたツールを作成。
成果物として大工の魅力を伝える動画・会社案内パンフレットなど完成。

2-4. 今後の課題・改善点【確保】

○山梨・山口における活動の効果検証と、他地区への展開。

○「確保取組」の住活協内での更なる情報共有と周知。
活動の意義、認知アップによる参加地域の拡大。

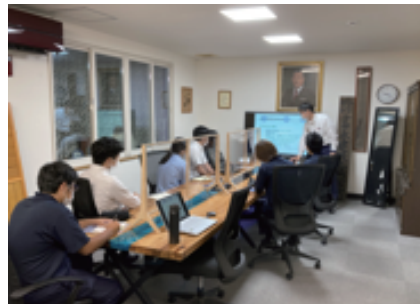
令和4年度 地域の建材店を中心とした地域の会大工担い手育成事業 ((一社)全国住宅産業地域活性化協議会) 【育成・確保】

【研修風景】

<鹿児島>



<長崎>



<山口>



<広島>



<福山>



<岡山>



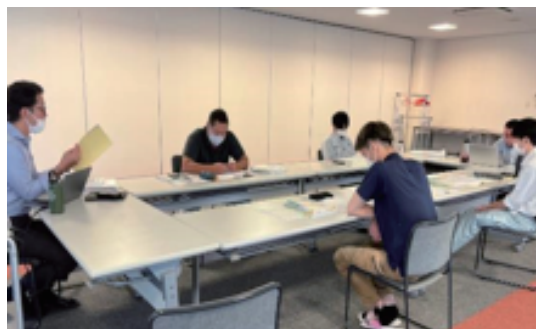
令和4年度 地域の建材店を中心とした地域の会大工担い手育成事業 ((一社)全国住宅産業地域活性化協議会) 【育成・確保】

【研修風景】

<鳥取>



<福井>



<山梨>



<岡崎>



<北上>



令和4年度 地域の建材店を中心とした地域の会大工担い手育成事業 ((一社)全国住宅産業地域活性化協議会) 【育成・確保】

【委員会】

<育成委員会>



<集合研修>



<地域ネットワーク委員会>

・山梨



・山口

